



クルマに強い、  
東京センチュリーリースグループ。



証券コード: 8439

東京センチュリーリース株式会社

# TC-Lease

## 東京センチュリーリース オート関連グループ企業



ニッポンレンタカーサービス株式会社



日本カーソリューションズ株式会社



株式会社オリコオートリース

海外オート

台湾・中国・シンガポール・タイ・マレーシア・  
フィリピン・インド・米国

## 株主通信 第46期 第2四半期連結累計期間

2014年4月1日▶2014年9月30日

株主のみなさまへ

TC-Leaseは、  
「真の総合ファイナンス・サービス企業」を目指しています。

好評につきもう1度

TC-Letter from Overseas 成長市場はまだあります!

特集

TC-Leaseのダイバーシティ 「グローバル採用」編



東京センチュリーリース株式会社  
〒101-0022  
東京都千代田区神田練塀町3  
富士ソフトビル



見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。



TC-Leaseは、

## 「真の総合ファイナンス・サービス企業」

を目指しています。

代表取締役社長 浅田 俊一

### 当第2四半期の業績・事業環境について お聞かせください。

当第2四半期における事業環境は、円安による原材料価格の上昇や中東における地政学リスクなどの懸念材料があるものの、政府と日銀による経済・金融対策により、企業収益や雇用環境の改善が続き、景気は緩やかな回復基調で推移しました。

このような状況のもと、当社グループの当第2四半期は、新規契約実行高が前年同期比5.3%増加の6,325億円、営業保証を含む営業資産残高は前期末比1.3%増加の2兆6,799億円となるなど、順調に推移しました。損益面につきましては、売上高は前年同期比21.9%増の4,385億円、営業利益は同22.8%増の289億円、経常利益は同12.6%増の299億円、四半期純利益は

同5.8%減の166億円となったものの、各利益段階の2015年3月期業績予想に対する進捗は概ね良好です。

### 当第2四半期の主な取り組みについて お聞かせください。

「真の総合ファイナンス・サービス企業を目指し、更なる変革と持続的成長を実現する。」を基本方針とする第2次中期経営計画のもと、様々な施策を推進してまいりました。

太陽光発電事業を手掛けるため京セラ株式会社と合併で設立した京セラTCLソーラー合同会社が、水上架台の特許を持つフランスのシエル・テール・インターナショナルと共同で水上設置型メガソーラー発電事業への取り組みを開始いたしました。

また、東アジア・アセアンにおきましては、中国政府系企業の蘇州新区高新技术産業股份有限公司が新たに設立するリース事業会社への出資を行い、当社の持分法適用関連会社とすることを決定しました。さらに、フィリピン大手銀行のBank of the Philippine Islands（以下、BPI）の100%子会社であるBPI Leasing Corporationの発行済株式49%を取得し、当社とBPIが合併事業を行うことについて合意いたしました。当社グループは、BPIが持つフィリピン国内のネットワークと当社の設備リース等の商品力を融合させることで、GDPの伸び率が7.2%と高成長を続けるフィリピン市場にお

いても事業基盤を拡大してまいります。

さらに、10月には世界第6位の航空機リース機体数を誇る米国のCITグループと共同で航空機リース事業を行う合併会社を設立することを決定しました。合併会社は、今後2年間で2,000億円規模の投資を計画するなど、当社グループの航空機関連ビジネスは飛躍的に営業資産残高を増大する見込みです。

### 2015年3月期の見通しについて お聞かせください。

2015年3月期の連結業績見込みである売上高8,600億円（前期比3.8%増）、営業利益563億円（同9.5%増）、経常利益570億円（同3.3%増）、当期純利益333億円（同0.8%増）の計画達成に向けて着実に進捗している状況をうけ、当第2四半期末の配当を4円増配の1株当たり32円、また期末配当予想につきましても1株当たり4円増配の32円とし、年間配当を前期比1株当たり12円増配となる64円に修正いたしました。

当社は更なる利益拡大と持続的成長を実現するため、ROE（自己資本当期純利益率）、ROA（総資産経常利益率）、EPS（1株当たり当期純利益）の3つの指標をバランスよく向上させ、株主のみなさまをはじめ、あらゆるステークホルダーのみなさまのご期待に応えてまいります。

## 主要トピックス

2014年5月26日リリース

タイ現地法人TISCO Tokyo Leasing Co., Ltd.を連結子会社化

2014年8月29日リリース

京セラTCLソーラー合同会社による世界最大(\*)の水上メガソーラーの設置を開始

(\*) 水上設置型太陽光発電所における比較(2014年8月29日時点)

次のページでは、その他の主要トピックスを解説します！

## 会社概要

社名	東京センチュリーリース株式会社 (略称：TC-Lease)
所在地	〒101-0022 東京都千代田区神田練堀町3 富士ソフトビル
代表者	代表取締役会長 丹波 俊人 代表取締役社長 浅田 俊一
設立	1969年7月1日
資本金	342億円
従業員数	連結 4,068人 単体 1,030人

## 主な関係会社

### 【国内】

日本カーソリューションズ株式会社  
株式会社オリコオートリース  
ニッポンレンタカーサービス株式会社  
富士通リース株式会社  
株式会社IHIFファイナンスサポート  
エス・ディー・エル株式会社  
TCIファイナンス株式会社  
株式会社アイテックリース  
TCプロパティソリューションズ株式会社  
株式会社TRY  
TCエージェンシー株式会社

### 【海外】

東瑞盛世利融資租賃有限公司  
東瑞盛世利(上海)商業保理有限公司  
Century Tokyo Leasing (Singapore) Pte. Ltd.  
Century Tokyo Capital (Malaysia) Sdn. Bhd.  
PT. Century Tokyo Leasing Indonesia  
PT. TCT Indonesia  
TISCO Tokyo Leasing Co., Ltd.  
Century Tokyo Leasing (USA) Inc.  
TC Aviation Capital Ireland Limited  
統一東京股份有限公司  
統盛融資租賃有限公司  
GA Telesis, LLC

 **Philippines**

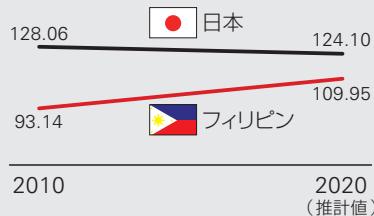
**フィリピン共和国**

■ 基本データ

総面積	299,404平方キロメートル
人口	約9,314万人(2010年)
名目GDP	約289(10億USドル)(2014年)
平均年齢	23歳

出所：外務省、フィリピン統計機構、IMF、国家統計調整局

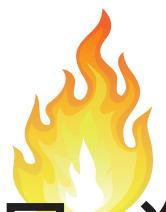
■ 人口推移  
(百万人)



出所：総務省統計局、フィリピン統計機構



**「若い! 熱い!」  
フィリピン共和国へ進出!**



人口1億人突破、平均年齢23歳。2013年のGDP伸び率が前年比7.2%と中国に次ぐ高成長を続けるフィリピン共和国(以下、フィリピン)。当社は、東南アジア最古の大手銀行であり、フィリピン国内に800以上の支店を有するBank of the Philippine Islands(以下、BPI)より、BPIの100%出資子会社であるBPI Leasing Corporationの発行済株式の

49%を取得し、同社を当社とBPIの合弁会社とすることについて合意しました。新会社は、BPIが持つフィリピン国内のネットワーク、顧客基盤と経営インフラに、当社が持つ顧客基盤・商品力・専門分野におけるノウハウを戦略的パートナーシップのもと融合し、フィリピンにおける事業基盤を拡大していきます。

▶ **新会社概要**

名称	BPI Century Tokyo Lease & Finance Corporation	
本社所在地	フィリピン マニラ	
事業内容	総合リースおよびファイナンス業	
資本金	80,899千ペソ(約2億円)	
出資比率	TC-Lease : 49%	BPI : 51%



 **Ireland** × **TC-Lease** × **航空機リース**



TC-Leaseは、米国の大手金融・リース会社のCIT Group Inc.と共同出資で、米国・アイルランドに、航空機リースの合併会社の設立を決定しました。

▶ **なぜアイルランド?**

航空機リース誕生の地であるアイルランドは、外国企業が航空機ビジネスを展開しやすい税制などが整備されていることに加え、専門知識の豊富な人材の確保が比較的容易なことから、航空機ビジネスの先進国として世界を牽引しています。

また、アイルランドとアジア・北米地域の時差もビジネスに好適。まさに航空機ビジネスの拠点として絶好の国なのです。

▶ **TC-Leaseの航空機ビジネス**

2012年に資本参加したジェットスター・ジャパンに対する航空機リースをはじめ、米国の大手航空機部品会社であるGA Telesis, LLCへ出資し、エンジンやパーツ周辺ビジネスを展開しています。

2013年には当社の100%子会社TC Aviation Capital Ireland Limitedをアイルランドに設立したほか、2014年にはCIT Group Inc.との合併事業により新たに2拠点の開設を決定するなど、着実にビジネスを拡大しています。

▶ **TC-Leaseグループの航空機リース関連会社**

名称	TC Aviation Capital Ireland Limited	TC-CIT Aviation Ireland Limited	TC-CIT Aviation U.S., Inc.
所在地	アイルランド ダブリン	アイルランド ダブリン	米国 ニューヨーク
出資比率	TC-Lease 100%	TC-Lease 70% CIT Group Inc. 30%	TC-Lease 70% CIT Group Inc. 30%
設立	2013年10月	2014年10月 <b>NEW</b>	2014年10月 <b>NEW</b>

**ホットひといき** 「空飛ぶコーヒー」



アイルランド西部クレア州にあるシャノン空港が発祥。1943年、当時は飛行機の航続時間が短く頻繁に給油をする必要があり、また機内も気密構造が完全ではなかったため、乗客は凍えるような思いをしていたそうです。

シャノン空港内にあるアイルリッシュパブのオーナー、ジョー(ジョセフ)・シェリダグがそんな飛行機を待つ乗客たちに、冷えた体を温めてもらうためつくったのが始まりのホットドリンク。それが「アイルリッシュ・コーヒー」です。

特集：  
TC-Leaseのダイバーシティ  
「グローバル採用」編

第2次安倍内閣のもと、成長戦略を担う「3本の矢」として放たれた「日本再興戦略」。着実な実行への道筋として、女性の登用や高い能力をもった海外出身者の積極採用など、「人材の多様化」(ダイバーシティ)が推進されています。今回は、TC-Lease初の海外出身社員でありシンガポール現地法人の符社長と、先輩に続く若手社員に話を聞きました。

シンガポール現地法人  
符社長  
インタビュー



Century Tokyo Leasing  
(Singapore) Pte. Ltd.  
社長 符 祥盛  
(フー シャンセン)

略歴  
日本の大学を卒業後、1987年当時の東京リースに入社。財務部、香港現地法人などを経て2000年当社シンガポール現地法人の社長に就任。

— なぜ、日本のリース会社を志望し、就職されたのですか。

今から30年以上前、同じ高校の同級生のほとんどが台湾やアメリカへ留学しましたが、当時、あえて皆と違う選択で日本への留学を決めたことはTC-Leaseへの入社を決めたことと同じように勇気のある選択でした。日本の大学で学んだ4年間は、実に様々な新鮮かつ膨大な知識や情報から刺激を受けました。大学の卒業前には周囲から語学を活かせる商社等への就職を勧められましたが、当時のリース事業は企業にとって実に斬新な融資手段のひとつであり、リースによる融資方法を活用することで母国であるマレーシアのような発展途上国は一段と早く先進国入りを果たせると信じたのが入社のかっかけです。

— これまでのお仕事で特に印象に残っている出来事、またはやりがいを感じたことについて教えてください。

近年、シンガポール拠点の営業資産および収益は、TC-Leaseグループの海外現地法人の中で最も大きくなっています。また、シンガポールにある日系同業他社の中においてもトップクラスであり、これは日頃のナショナルスタッフの努力と協力なしには辿り着くことが出来ない立派な頂点です。振り返ってみれば、現在のシンガポール拠点は約20年前に一度存続について議論された時期があったにも関わらず、その後すべてのナショナルスタッフと徹底的に業務転換を行ったことにより現在の健全かつ高収益体制が構築されました。その要因は、日頃からお客さまやマーケットの変化に対して常に多様なソリューションが提供出来たことであり、何よりも大事なことです。

— TC-Leaseグループにおけるグローバル採用の必要性と人材の活用について、ご自身のお考えをお聞かせください。

先ほど申し上げた通り、海外現地法人の運営を成功させるためには日頃の日系企業へのサービス提供だけでなく、さらに一歩踏み込んだ現地企業との緊密な業務連携が非常に重要です。現地企業との懸け橋になってくれる海外出身社員の活躍により、会社の潜在能力を一層引き出すことが出来ると思います。TC-Leaseグループの海外出身社員の今後の活躍を大変楽しみにしています。

人事部  
採用・研修グループより

若手海外出身社員に聞きました!



樊 偉潔  
(ファン ウェジェ)  
国際営業第二部  
2012年入社

TC-Leaseの印象について教えてください。

私は大学卒業直後に米国系同業他社に就職しましたが、気付いたら語学等の強みを生かせず、国内営業に明け暮れていました。活躍の場を世界に求め、ご縁があり2年前に当社へ転職しています。思えば、採用の過程において人物重視な会社だと感じた時に私の日本企業に対する先入観は大きく変わり、今でも日々驚くことがあります。特に日本企業がグローバルに活躍する時代では、国籍、性別に関係なく、先を見据えて成長意欲のある従業員にチャンスを与えるのは当社の強みだと確信しています。



裘 吉棟  
(キウ キチトウ)  
国際営業第二部  
2011年入社

現在携わっている業務のやりがいについて聞かせてください。

今は当社の海外現地法人において欧米系ベンダー（グローバルベンダー）と連携してエンドユーザー向けに提供する「グローバルベンダー取引」と呼ばれるファイナンス取引の組成と推進に携わっています。世界中のお客さまの多様なニーズにお応えするために高度な専門性と創造力が常に求められる業務であり、グローバルに活躍できるチャンスがあること、またリース業の柔軟性と自由度の高さによるTC-Leaseの成長可能性に日々やりがいを感じています。



陳 依農  
(チェン イノウ)  
営業第二部  
2014年入社

OJTを通じた業務の習得について、日々感じていることや今後の目標を教えてください。

私はコーポレート部門に所属しており、OJTの先輩のもとで法人のお客さまに対するリース営業を学んでいます。私が現在所属する部署のお客さまは一般的なリースでは満足してもらえない場合が多く、お客さまにとって一番メリットのある提案を考えなければなりません。世界企業を相手に考えることは面白く、ハードルをクリアしたときの達成感も大きいです。今は入社1年目で、日々勉強ですが、いずれ自分も最前線で活躍し、自分にしか、当社にしかできない提案ができるようになりたいと思います。

近年、多くの日本企業が中国をはじめとするアジア各国に進出しています。事業環境が急激かつ変化し続けるビジネスにおいて、更なる持続的成長を果たすには、過去の考えに捉われず、グローバルな視点で柔軟な発想ができる人材が必要となっており、当社では外国人留学生を採用しています。彼らにとって、日本企業独特の文化や商慣習の理解、また、お客さまや社内の同僚と良好な人間関係を構築できるか等、働く上で戸惑う場面もあるかもしれません。その為、入社後1年間は先輩社員がマンツーマンで指導する体制をとっています。また、配属された部署の先輩たち全員が指導員であるとも自覚しており、会社全体で育成しようとする風土があります。当社の一員として、自らが発信源となり、新たな価値観を生み出す存在であり、将来的には国内外問わず、組織を牽引する役割を担って欲しいと思います。

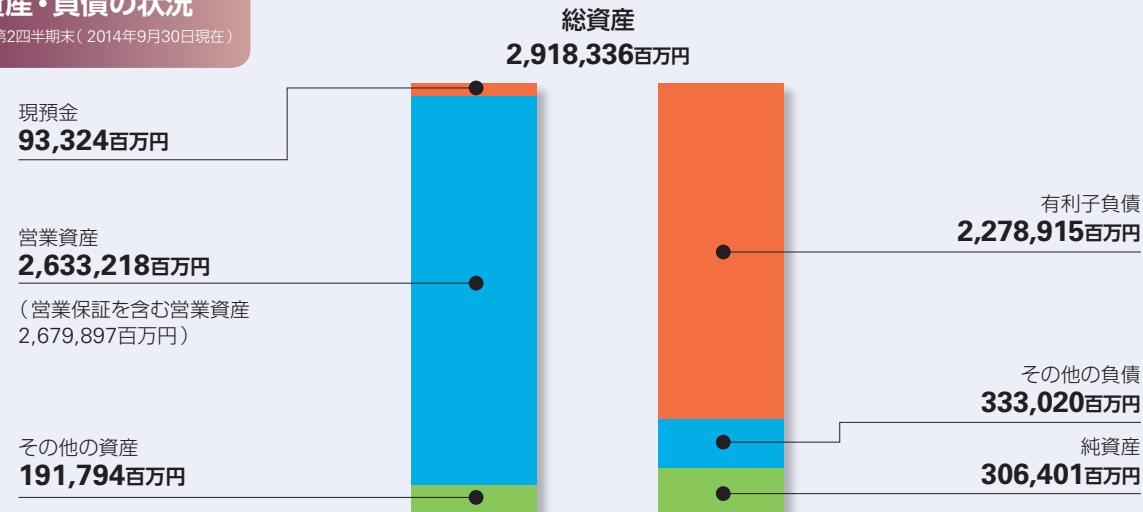


次回予告⇒⇒

第46期株主通信では、  
ダイバーシティ特集第2弾として、  
「女性の活用」を特集します。

資産・負債の状況

当第2四半期末(2014年9月30日現在)



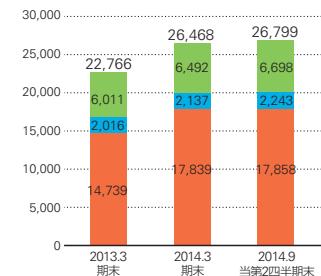
連結損益計算書 (要旨)

(百万円未満は切り捨て)

	前第2四半期 2013年4月1日から 2013年9月30日まで	当第2四半期 2014年4月1日から 2014年9月30日まで
売上高	359,735	438,543
賃貸事業	313,812	379,775
割賦販売事業	33,390	38,240
ファイナンス事業	7,863	10,958
その他の事業	4,668	9,568
売上原価	318,888	376,667
売上総利益	40,847	61,876
販売費及び一般管理費	17,286	32,940
営業利益	23,560	28,935
営業外損益	2,958	930
経常利益	26,518	29,865
特別損益	417	153
四半期純利益	17,582	16,555

営業資産残高

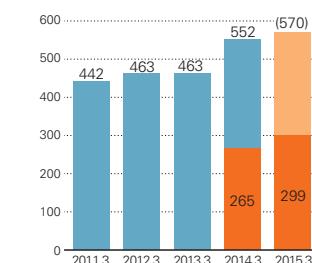
(億円) リース 割賦 ファイナンス



※ ファイナンスには営業保証およびその他の事業を含む。

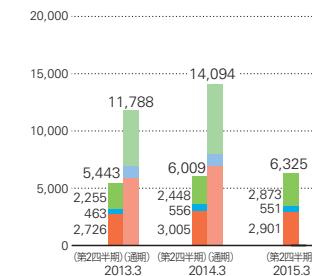
経常利益

(億円) 通期 第2四半期



新規契約実行高

(億円) リース 割賦 ファイナンス



四半期(当期)純利益

(億円) 通期 第2四半期



2015年3月期業績予想

売上高	8,600億円	(前期比3.8%増)
営業利益	563億円	(前期比9.5%増)
経常利益	570億円	(前期比3.3%増)
当期純利益	333億円	(前期比0.8%増)
1株当たり当期純利益	314.74円	(前期比3.1%増)
年間配当金	64円	(前期比12円増)
配当性向	20.3%	(前期比3.6ポイント増)

増配

1株当たり12円の増配を実施

当社の利益配分に関する基本方針、ならびに今後の経営環境等を総合的に勘案し、株主のみなさまの日頃のご支援にお応えするため、当第2四半期末の剰余金の配当を前回発表予想から1株当たり4円増配の32円といたしました。期末配当予想につきましても1株当たり4円増配の32円とし、年間配当では1株当たり56円から8円増配の64円に修正いたしました。通期ベースの実績では前期比1株当たり12円の増配となります。

配当の推移はP10へ

## 株主アンケートご協力をお願い

下記URLにアクセスいただき、アクセスナンバー入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

株主のみなさまからのご意見・ご要望を今後の活動の参考とさせていただくため、WEBアンケートを実施いたします。

PC・スマートフォンから

<http://104ka.net/>

【アクセスナンバー 8439】

とうしかねっと

検索

メールから

kabu@req.jpへ空メールを無記入でご送信いただき、自動返送されるアンケート回答用のURLからアクセスいただけます。

スマートフォン・携帯電話から

QRコード読み取り機能のついたスマートフォンまたは携帯電話をお使いの方は、下のQRコードから直接アンケート画面へアクセスできます。



●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間(2015年1月31日まで)です。

本アンケートは、宝印刷株式会社が発行する個人投資家向け情報誌「ジャパニーズ インベスター」のWEBサイト「投資家ネット」にて実施いたします。宝印刷株式会社については<http://www.takara-print.co.jp/>をご参照ください。ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承認なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

【個人情報の取扱いに関して】お答えいただくアンケートの回答内容・個人情報につきましては、「統計的にデータをまとめた上で分析し、サービスを改善すること」を目的として利用し、個人が特定できる形で利用されることはありません。その他、当社の個人情報に関する取扱いに関する詳細は当社の「個人情報保護方針」(<http://www.ctl.co.jp/csr/privacy.html>)のとおりです。

## 株主さまの声

株主通信を読んで「ミドリムシ」や「航空機エンジン」にも御社が関わっていることを知り、大変興味深かったです。

女性 50代

意外かもしれませんが、みなさまの身近なところで当社はつながっています。今後も是非ご期待ください。

社会貢献活動を  
よろしくお祈いします。

女性 60代

ホームページでの  
IR情報の  
充実を期待しています。

男性 40代

今回の特集では、みなさまにより親しんでいただける内容を目指し、当社で活躍する海外出身社員のインタビューを取り上げました。詳しくはP5,6をご覧ください。

今後も親しみやすい  
IRを期待いたします。

男性 40代

社会貢献活動について詳しくはホームページ上に「CSRレポート」を掲載しております。IR情報も随時更新しておりますので、是非当社ホームページをご覧ください。  
<http://www.ctl.co.jp/>

株主通信の中国・蘇州に

関するレポートは、非常に参考になりました。

今後もこのような記事を増やしていただけると良いと思います。

男性 30代

今回はフィリピン・アイルランドを紹介しています。P3,4をご覧ください!

## 配当

### 配当に関する私たちの考え

東京センチュリーリースは、株主のみなさまに対し、原則として年2回(中間・期末)の配当を実施しております。当社の配当方針としましては、長期的かつ安定的に利益還元を行うことを基本とし、持続的な利益成長を果たしたうえで、配当性向の向上も図っていきたくと考えています。東京センチュリーリースは、資本の充実を図りながら企業価値の向上に努め、株主のみなさまへのさらなる利益還元に取り組んでまいります。

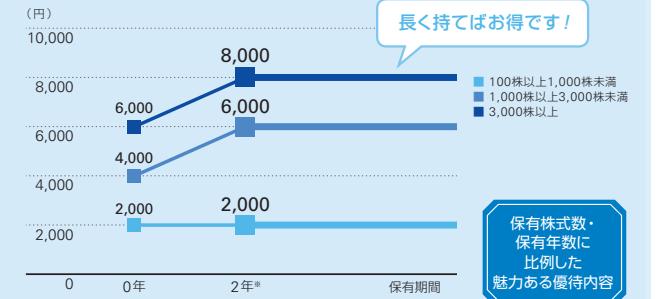


## 株主優待制度

### 株主優待制度のご案内

当社は株主のみなさまの日頃のご支援に感謝し、当社オリジナル「クオカード」を贈呈する株主優待を実施しております。(贈呈時期:毎年6月の定時株主総会後に発送)また、中・長期に保有いただける株主さまへ、より魅力ある株主優待の内容としております。

※保有期間2年以上とは、毎年3月および9月末の当社株主名簿に、同一株主番号で連続5回以上記載または記録された株主さまといたします。



## 株主メモ

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)
郵送物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
お問い合わせ先	お取引の証券会社等	【電話】フリーダイヤル 0120-288-324(土・日・祝日を除く 9:00~17:00) 【ウェブサイトURL】 <a href="http://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/">http://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/</a>
各種手続お取扱店(住所変更、株主配当金受取り方法の変更等)		みずほ証券 本店および全国各支店プラネットブース(みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行 本店および全国各支店(トラストラウンジではお取り扱いできません。)
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 本店および全国各支店 / みずほ銀行 本店および全国各支店(みずほ証券では取次のみとなります。)	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵送物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。